学校番号	3029

令和８年度 学 ＳＳ理数

教科	学 SS理数	科目	(学)サイエンス探究	単位数	２単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究メソッド 2nd Edition（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の課題研究は、LSコースの『ライフサイエンス』とSSコースの『サイエンス探究』の２コースで進めていきますが、幅広い研究を進める『ライフサイエンス』に対し、『サイエンス探究』では、みなさん自身が解き明かしたいこと、実現したいこと、挑戦したいことを追究し、研究の専門性を高めていきます。「人文・社会科学」と「理数・自然科学」に分かれて専門的な研究を行い、大学等の専門機関からも指導・助言を受け、研究の専門性を高めていきます。みなさんの興味・関心次第でテーマを設定することができますが、それだけにテーマ決定が極めて重要になります。教科の題材や身の周りの生活をはじめ、文化やスポーツ、社会や世界に関する報道、物質・生命・宇宙などの自然界の謎、自然界にはないものを作り出す「ものづくり」、数、式、図形をはじめとする数学の世界等、１年間をかけて取り組みたいことを見つけ、存分に探究を楽しんでみましょう。

2　学習の到達目標

課題研究を通して身につけたい「心」と「力」は、「知的好奇心・知的探究心」「問題発見力・問題解決力」「読解力・情報収集力」「表現力・発信力」「論理的思考力・論理的表現力」「聞く力・質問する力」「チームワーク・リーダーシップ・フォロワーシップ」など多岐にわたります。これらの多くは、１年次に実施した『信念（まこと）』『理想（のぞみ）』でその基礎が培われていますが、２年次では具体的な課題研究を通して、それらをより実践的に深めていきます。特に、『サイエンス探究』では、研究の軸となる「知的好奇心・知的探究心」を高めていくことを重視しつつ、探究に必要な様々な力と専門性を身につけていきます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a ：知識・技能	b ：思考・判断・表現	c ：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象とする事象について探究するための必要な知識・技能を身につけている。 対象に即して科学的方法を活用し、データ処理等において数理的・情報的手法を活用して、研究を進めることができる。 課題の探究を通して、知識・技能を論理的に活用する力を身につけている。	対象を多角的複合的に捉え、リサーチクエスチョンを設定して研究計画をたて、研究を進めることができる。 得られた結果を分析・考察し、論理的に結論を導くことができる。 研究成果について、論理的に表現して、発表・発信することができる。	研究テーマの面白さをよく理解し、研究テーマに対する熱意を持っている。 意欲的に研究に取り組み、研究を楽しむことができている。 研究活動・研究交流を通して、様々な事象に知的好奇心をもって向き合い、課題解決に挑戦する姿勢を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	課題の設定	LS・SS選択と研究領域選択 研究背景の整理 研究テーマ・仮説・リサーチクエスチョンの設定	a　研究背景が押さえられている b　仮説やリサーチクエスチョンが明確に設定できている。 c　設定した研究テーマの面白さを見出している。	◎課題の設定	○課題の設定	◎課題の設定
	研究の計画	研究方法の明確化 分担・スケジュールの確定 研究計画発表	a　研究方法が調べられている。 b　研究方法が適切である。 c　意欲的な計画ができ、また計画を研究計画発表で紹介できている。	◎研究計画書 ◎研究計画の発表	○研究計画書 ○研究計画の発表	◎研究計画書 ◎研究計画の発表 ◎交流の記録
	研究の実施	研究の実施 文献調査・アンケート・インタビュー・実地調査・観察・実験など 専門機関等からの指導助言	a　知識・技能を活用している。 b　研究結果の意味を考えつつ、研究を実施している。 c　意欲的に研究を進め、専門機関等からも積極的に助言を得ている。	◎研究ノート	○研究ノート	◎研究ノート ○指導助言の記録
後期	結果の分析	結果の分析・評価・整理 資料作成とロジックの整理 専門機関等からの指導助言	a　知識・技能を活用している。 b　研究結果と適切に分析し、論理的にまとめている。 c　意欲的に考察を行い、専門機関等との議論を研究に反映している。	○結果分析 ○作成資料 ○ロジックツリー	◎結果分析 ◎作成資料 ◎ロジックツリー	◎結果分析 ◎作成資料 ◎ロジックツリー ○指導助言の記録
	成果の発表	プレゼン資料の作成 プレゼンテーション準備 最終発表（研究成果発表）	a　知識・技能を生かして、ポスターが作成されている。 b　論理的に構成され、また、論理的に表現されている。 c　意欲的に成果発表し、質疑応答等で議論を深めている。	◎研究成果の発表	◎研究成果の発表	◎研究成果の発表 ◎交流の記録
	報告書作成	研究報告書の作成 研究の振り返り・まとめ 研究の外部発信の準備 ３年次『総合探究』へ	a　知識・技能を生かして報告書が作成されている。 b　論理的な流れで報告書がまとめられている。 c　目的から成果・展望まで意欲的な報告となっている。	◎研究報告書	◎研究報告書	◎研究報告書

※　表中の観点について　　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

表中の記号について　　◎：特に重視　　○：重視